

〔調査地点の概要 凡例と出典〕

庁舎分類

合併市町村に本庁舎、分庁舎、支所（総合支所、出張所を含む）のいずれが置かれているかを住所及び自治体ウェブサイトにおける組織表から判断した。

生活圏分類

2000年国勢調査を使用し、通勤圏を日常生活圏として用いて以下の通り分類した。

- 拠点型：昼夜間人口比率1以上
- 非拠点型：昼夜間人口1未満のうち、いずれかの旧市町村に5%以上の通勤圏を持つ
- 生活圏独立型：いずれの旧市町村にも5%以上の通勤率を持たない

上記の分類方法について詳しくは畠山輝雄（2013）「合併後の市町村における周辺部の過疎化の検証」、地理誌叢、54巻2号、16-25に依拠する。

グラフ

人口の推移については国調人口を用いている。人口（左軸）は当該旧町村の人口を線グラフで、増減率（右軸）は5年前と比較した人口の減少割合を棒グラフで表している。

廃置分合および名称変更の推移

西川治監修・太田孝編著（1995）『幕末以降市町村名変遷系統図総覧（1・2）』東洋書林より堀内作成。

用語については以下の通りである。

- 分割：一部を分離すること
- 分割設定：一部を分割し新しい町村を設置すること
- 分立：独立して設置された新しい町村をいう
また明治初期の統廃合の場合
- 合併成立：数か町村が合併して新しい町村ができたとき
- 合併：既にある町村に数か町村が吸収されたとき

町村名の左上には所属郡名を示す。年月日と共に記載されている場合、当該年月日に郡の名称が変更されたか所属郡が変更になったことを表す。

太枠は1889年の市制・町村制施行の際に編成されてできた新市町村を示す（北海道は除く）。右へ行くほど時代をさかのぼる。年月日はすべて変動が発生した年月日を示す。

選挙に関する情報

自治総研が毎年各市町村選管から収集し所蔵している「自治体選挙台帳」より抽出した。

その他の出所については表中記載の通り